

2019 年度 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
博士前期課程 高度専門職業人養成コース 学生募集要項
[第2期試験]

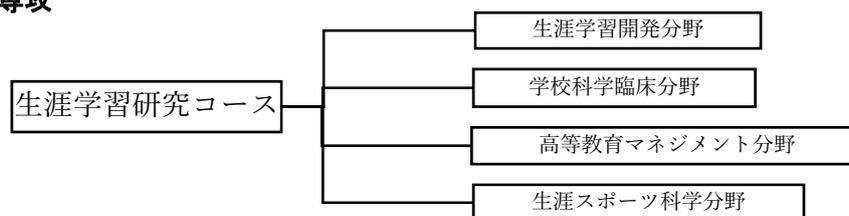
名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士前期課程 高度専門職業人養成コースに 2019 年度に入学する学生を次により募集する。

1. 本研究科博士前期課程 高度専門職業人養成コースの概要

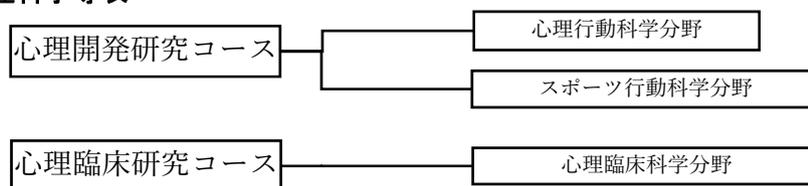
本コースは、一定の職業経験や社会的活動の経験を有する者に対して高度な専門的、実践的職業教育やリフレッシュ教育の機会を提供しようとするものであり、主として教育諸科学を生涯学習施設、大学を含む学校、国際協力関連施設及び企業等での課題に生かそうとする者、心理学を企業等（官公庁・公共企業体・教育諸機関を含む）の活動や組織内での問題解決に役立てようとする者、臨床心理士等の専門的な資格を得ようとする者を主たる対象とする。心理臨床研究コースは、公認心理師法施行規則が定める大学院の指定科目を開講している。また、心理臨床研究コースは、日本臨床心理士資格認定協会の大学院指定制度1種に指定されたコースである。

修了者には、修士（教育）、修士（心理学）又は修士（臨床心理学）の学位（Master of Arts）を授与する。

教育科学専攻



心理発達科学専攻



2. 出願資格

出願できる者は、次の各号の一に該当する者で、かつ、各コース毎に定める条件を満たすものとする。

次の各号の一に該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び 2019 年 3 月末日までに卒業見込みの者（大学とは、我が国の学校教育法第 83 条に定める大学（修業年限が 4 年以上の大学）をいう。）
- (2) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2019 年 3 月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2019 年 3 月末日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通

信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者

- (6) 学校教育法第104条第4項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2019年3月末日までに修了見込みの者
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2019年3月末日までに修了見込みの者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2019年3月末日までに22歳に達する者

注) 出願資格(9)により出願する者は、8頁を参照し2018年11月5日(月)までに名古屋大学大学院教育発達科学研究科入試担当あてに必着で必要書類を提出すること。

各コースの出願条件

- (1) 生涯学習研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有する者
- (2) 心理開発研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有し、心理学系もしくは体育学系の学部・学科・専攻を卒業した者もしくは2019年3月末日までに卒業見込みの者、またはこれと同程度の専門知識を有する者
- (3) 心理臨床研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有し、心理学系の学部・学科・専攻を卒業した者及び卒業見込の者で、心理学系科目の単位を出願時に20単位以上取得した者
このコースは、一般募集の心理臨床科学領域の学生と共通の履修課程を原則とする。

3. 専攻及び募集人員

専 攻	募集人員
教育科学専攻 生涯学習研究コース (生涯学習開発, 学校科学臨床, 高等教育マネジメント, 生涯スポーツ科学)	各分野 若干名
心理発達科学専攻 心理開発研究コース(心理行動科学, スポーツ行動科学) 心理臨床研究コース(心理臨床科学) 心理発達科学専攻の合否判定は、心理行動科学, スポーツ行動科学, 心理臨床科学の各分野ごとに行われる。	各分野 若干名

4. 出願書類および入学検定料

様式は、本研究科のウェブサイトよりダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入すること。印刷できない場合は、大学院教育発達科学研究科入試担当まで相談すること。

(1) 入学志願票・写真票・受験票 【様式1】

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、提出すること。写真票、受験票は、点線で切り取ること。

(2) 卒業（見込）証明書

卒業（見込）大学等発行の証明書を提出すること。なお、海外の大学等を卒業した者は、日本の学士に相当する学位を取得したことを証明するものを提出すること。

ただし、名古屋大学教育学部卒業者及び卒業見込の者は提出を要しない。

出願資格（6）により出願する者は、学位取得（見込）証明書を提出すること。

なお、中国の大学卒業者は、卒業（見込）大学等発行の証明書を提出するとともに、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』のウェブサイトにて「学位証書」の認証報告（PDF）を取得し、それを A4 判用紙に印刷したものを提出すること。発行に時間がかかる場合もあるため、手続きは早めに行うこと。手続きの詳細については、CDGDC のウェブサイト（<http://www.cdgdc.edu.cn>）で確認すること。また、CDGDC の学位証書に関する取り扱いに変更が生じた場合は、提出書類を変更する可能性がある。その場合は別途指示する。

(3) これまでの研究テーマとその成果の概要 【様式2】

生涯学習研究コースを志望する者のみ、所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、約 2,000 字で記述し、4 部提出すること。複写可。

(4) 研究・学修計画 【様式3】

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、提出すること。

(ア) 生涯学習研究コース

本研究科での研究・学修計画を、約 2,000 字で記述し、4 部提出すること。複写可。なお、希望するコースの内容に関係ある研究論文、報告書などがあるものは、それを添付することができる。各 4 部提出するものとする。複写可。

(イ) 心理開発研究コース／心理臨床研究コース

希望するコースにおける入学後の研究・学修計画（応募の動機、主として学修・研究したい内容、学修内容を修了後どのように活かしたいか、等）を、約 2,000 字で記述し、9 部提出すること（英文での提出も可能。ただし、約 1,600 単語で記述すること）。

なお、希望するコースの内容に関係ある研究論文、報告書などがあるものは、それを添付することができる。各 9 部提出するものとする。複写可。

(5) 職務および社会的活動説明書 【様式4】

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、生涯学習研究コースにあっては 4 部提出すること。心理開発研究コース及び心理臨床研究コースにあっては 9 部提出すること（英文可）。

(6) 成績証明書

心理臨床研究コース志願者のみ、卒業（見込）大学等発行の証明書を提出すること。ただし、名古屋大学教育学部卒業者及び卒業見込の者は提出を要しない。

(7) 領収証書・領収証書（控） 【様式5】

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、氏名欄（2箇所）に出願者の氏名を記入すること。

(8) 受験票送付用封筒 1 通（市販の封筒を用意すること）

長形 3 号封筒（23.5cm×12cm）に、宛先に出願者の住所・氏名を記入し 372 円切手を貼ること。

(9) 合否通知送付用封筒 1 通（市販の封筒を用意すること）

長形 3 号封筒（23.5cm×12cm）に、宛先に出願者の住所・氏名を記入し 372 円切手を貼ること。

(10) あて名シート 【様式 11】

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、本人の住所・氏名を記入し、点線で切り取ること。

(11) 入学検定料 30,000 円

必ず郵便局で 30,000 円の普通為替を作成し、受取人指定欄等一切記入しないこと。

* 国費留学生の場合「国費外国人留学生証明書」をもって入学検定料に代える。

(12) 国籍、在留資格及び在留期間を確認できるもの ※日本国籍を有しない者のみ

・(日本国内に在住する者)

住民票の写しまたは在留カード(両面)のコピーを提出すること。住民票の写しの場合、「在留資格」、「在留期間」、「在留期間満了日」が記載された「個人番号(マイナンバー)」の記載のない住民票の写し(発行日から3ヶ月以内のもの)を市区町村役場で取得し提出すること(発行時に申し出が必要)。

・(日本国外に在住する者)

パスポート(顔写真のある頁)のコピーを提出すること。

※出願書類等には、これらの証明書等に記載された氏名を用いること。

5. 願書受付期間

2018年11月26日(月)～2018年11月30日(金)

(注) メールでの出願はできません。

持参の場合	受付時間 9時～12時及び13時～16時 受付場所 名古屋大学東山キャンパス 文系総合館1階 教育発達科学研究科窓口 (名古屋市千種区不老町 B4-4 (700))
郵送の場合	封筒の表に「大学院教育発達科学研究科〇〇専攻 高度専門職業人養成コース入学願書在中」と朱書し、必ず書留郵便とし、期間内(2018年11月30日16時まで)に必着のこと。期間後到着分は受理しないので注意すること。 出願書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 入試担当

出願上の注意事項

- ① 本研究科が受理した出願書類を、受理後に訂正することは認めない。
- ② 理由のいかんにかかわらず、出願書類及び入学検定料は返還しない。
なお、受験票の発送は、12月17日(月)頃を予定している。

6. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は出願書類による出願資格等の審査及び学力試験により行う。
- (2) 学力試験は筆記及び口述により行う。とくに指示がある場合を除き、日本語により解答するものとする。
- (3) 学力試験の科目及び実施方法

① 生涯学習研究コースの学力試験

(ア) 期日・時間割

期日	時間	学力試験の科目
2019年1月23日(水)	9:00～10:30	外国語
	11:30～	口述試験
2019年1月24日(木) (予備日)	9:00～	口述試験

口述試験の日程表は、2019年1月23日(水)10:30頃に本研究科玄関に掲示する。

(イ) 学力試験の科目

(a) 外国語

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、日本語のうちから受験者が選択した自国語以外の1か国語について、一般教養的語学力及び教育科学に関連する語学力を筆記により試験する。なお、辞書持ち込み（冊子体の1冊に限る。「英和・和英辞典」等、2冊分の機能のあるものは認めない。）を可とする。

(b) 口述試験

これまでの研究成果、研究・学修計画を含む研究事項、職務及び社会的活動、及び研究・学修計画の遂行に必要な学力について行う。

(ウ) 受験上の注意事項

- (a) 口述試験では様式2、様式3及び様式4の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述に際して、それらを参照することができる。
- (b) 外国語または教育科学のいずれか一つでも受験しなかった者は、それ以降のすべての試験を受験できない。また、口述試験に15分以上の遅刻者は、口述試験を受験できない。
- (c) 試験開始後は、各科目の終了時刻まで退室することはできない。
- (d) 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切つかばん等に入れておくこと。
- (e) 試験場には時計がないので、必要な者は時計を持ち込んでもよい。ただし、時計は計時機能のものに限る。

② 心理開発研究コース／心理臨床研究コースの学力試験

(ア) 期日・時間割

期日	時間	学力試験の科目
2019年1月23日(水)	9:00~10:30	英語
	11:00~13:00	心理発達科学 スポーツ行動科学
2019年1月24日(木)	9:00(予定)~	口述試験

第1次の合否判定結果及び口述試験の時刻表は、2019年1月24日(木)8:45頃に本研究科玄関に掲示する。

(イ) 学力試験の科目

(a) 専門科目

心理開発研究コースの心理行動科学分野または心理臨床研究コースを志望する者は、心理発達科学を、心理開発研究コースのスポーツ行動科学分野を志望する者はスポーツ行動科学を選択する。

・心理発達科学：計量心理学、認知心理学、教授・学習心理学、パーソナリティ心理学、社会心理学、生涯発達心理学、臨床心理学、家族心理学、学校心理学、発達精神科学について出題する。

心理開発研究コースの心理行動科学分野または心理臨床研究コースを志望する者は、共通問題（心理学研究法、統計を含む）1問、選択問題（心理行動科学領域および心理臨床科学領域）4問中2問、計3問に回答すること。これにより、心理行動科学、および心理臨床科学における研究に必要な能力について試験をする。

・スポーツ行動科学：スポーツ心理学、運動学習科学について出題する。これにより、スポーツ行動科学における必要な能力について試験をする。

(b) 外国語

・外国語試験は、英語とし、辞書の使用（冊子体の語学辞書1冊に限る。「英和・和英」等、2冊分の機能のあるものは認めない。）を可とする。

心理行動科学分野・心理臨床科学分野及びスポーツ行動科学分野の3分野にかかわる英語力について試験する。

(c) 口述試験

・口述試験は、主として研究・学修計画について行う。

(ウ) 学力試験の特例について

心理開発研究コース／心理臨床研究コースを志望する受験者が、以下のいずれかに該当する場合は、筆記試験（専門科目）においても冊子体の語学辞書1冊（「英和・和英」等、2冊分の機能のあるものは認めない。）を使用することを認める。ただし、口述試験での辞書の使用は認めない。

- ① 日本国以外の国籍を有する者であって、日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められるもの。
- ② 日本国の国籍を有する者であって、学歴等から日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められるもの。

この特例により受験することを希望する者は、出願の際に様式10により申請すること。特例により受験することの可否について審査し、その結果は受験票発送時に同封する。

(エ) 受験上の注意事項

- (a) 口述試験では様式3及び様式4の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述に際して、それらを参照することができる。
- (b) 専門科目又は外国語のいずれか一つでも受験しなかった者は、口述試験を受験できない。
- (c) 試験開始後は、各科目の終了時刻まで退室することはできない。
- (d) 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切つかばん等に入れておくこと。
- (e) 試験場には時計がないので、必要な者は時計を持ち込んでもよい。ただし、時計は計時機能のものに限る。

(4) 試験実施場所

試験は名古屋大学大学院教育発達科学研究科（名古屋市千種区不老町）において実施する。詳細は、試験当日、本研究科玄関に掲示する。

7. 合格者発表

2019年1月25日（金）17:00頃、本研究科玄関に掲示するとともに、後日郵送により受験者に通知する。なお、受験者の便宜を考慮し、玄関掲示以降、次のウェブサイトにも掲示する予定であるが、あくまで、本研究科玄関の掲示と郵送による通知を正式な合格者発表とする。

<http://educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

8. 入学手続

2019年2月下旬頃、郵送により合格者に通知する。

9. 学生納入金

入学金	282,000円（予定額）
授業料（年額）	535,800円（予定額）

〈注〉

- ① 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行なわれた場合には、改定時から新たな納入金額が適用される。
- ② 入学手続き時に入学料（282,000円）を納入しなければならない。
- ③ 授業料の納入については、別途通知する。

10. その他

(1) (障害のある者等の出願) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、2018年11月5日(月)までに、以下三点を文系教務課(教育担当)まで提出すること。

- ① 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの(様式随意、A4サイズ))
- ② 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等(写しでもよい)。
- ③ 障害等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。

なお、必要に応じて、適宜それ以外の書類を添付しても構わない。また、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。

(2) (個人情報の取り扱い) 出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

2018年10月発行

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

入試担当問合せ先：TEL 052-789-2606

出願資格（9）により出願する者の個別審査について

1. 個別審査

出願資格（9）により出願する者は、あらかじめ次の書類を2018年11月5日（月）までに、本研究科へ提出又は同日必着で郵送し（書留便で封筒の表に「個別審査願」と朱書）、出願資格の有無について個別審査を受けること。

- ① 個別審査願 [様式6]
- ② 履歴書 [様式7]
- ③ 研究実績調書 [様式8]
- ④ 研究内容説明書 [様式9]
- ⑤ 成績証明書（高校卒業の者は、それ以降のものをすべて提出すること。）
- ⑥ 返信用封筒（住所、氏名を明記した長形3号（23.5cm×12cm）のもの（82円分の切手貼付））

本研究科で個別審査を実施し、その結果は2018年11月14日（水）までに本人宛発送する。

2. 個別審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に提出すること。

なお、個別審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておくこと。

高度専門職業人養成コースへのご案内

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

本研究科では、高度専門職業人養成コースを設け、多様な社会経験を有する方に、博士前期課程におけるより高度な学習の機会を提供しています。

本コースの入学者としては、主に教育諸機関の教職員、生涯学習施設の職員、美術館・博物館の学芸員、図書館の司書、国及び自治体等の専門職員、医療・福祉関係者および民間企業で人事・労務・マーケティング・製品開発等にたずさわっている社員など、教育・文化関連の職業に従事しておられる方々を想定しています。そのほかNPO、ボランティア活動、地域における市民活動等の社会的活動を3年以上経験された方々も本コースに出席することができます。

○開講形態

入学者の学習条件を考慮し、相当数の科目について平日夜間開講します。また土日集中、長期休暇中の集中等の形態で開講されることもあります。ただし、心理臨床研究コースについては、平日夜間の開講はありません。

○コースと分野の説明

(1) 生涯学習研究コース（昼夜間開講）

人間の生涯にわたるさまざまな課題を総合的実践的に研究するための、教育臨床的な知識・技能を修得した高度職業人を育成するコースです。本コースは、「生涯学習開発」「学校科学臨床」「高等教育マネジメント」「生涯スポーツ科学」の4分野からなり、各分野ではさまざまなテーマを教育臨床的アプローチによって総合的全体論的に理解することを目指します。履修に関しては、共通基礎科目・コース専門科目・論文指導研究科目などを通じて、入学者の多様な関心・要望に応えるため、少人数の個別的指導や柔軟な履修形態を導入しています。

① 生涯学習開発分野

学校をはじめ、家庭、地域社会、職場における生活・文化・労働（技術）を通しての生涯にわたる人間形成・発達のメカニズムの究明と、それに関わるより意図的・組織的な教育システムのあり方を究明することを目的としています。特に人間形成・発達と教育を規定する文化的・社会的要因を歴史的・実証的に分析するとともに、学校内外の教育の社会的・国家組織的な機能と構造を個人の生涯にわたる教育権保障の視点から解明することにより、人間の発達過程に関わる文化・社会的な調査を含むフィールドワークを基礎に生涯にわたる人間形成のメカニズムを理論的に解明できる高度な資質をもった高度職業人を育成することを目的としています。

② 学校科学臨床分野

高度情報化社会の下で急速に変貌する学校教育の諸問題や、学習環境上の課題に直面している教育関係者を主な対象として、フィールド・スタディや授業分析をはじめ、教育科学の多様な臨床的・理論研究の方法を習得した上で、教育過程の構造的究明に求められる高度な学識を養うことを目的としています。

③ 高等教育マネジメント分野

少子・高齢化社会における高等教育改革の大きなうねりのなかで、高等教育マネジメントの専門化が要請されている折から、高等教育マネジメントを担当する職業人を対象に、より高度な理論的・実践的専門教育をおこない、高度な専門性を身につけた指導者を養成することを目的としています。

④ 生涯スポーツ科学分野

科学技術や情報技術の発展によって、私たちの生活はより便利に豊かになってきましたが、同時に、運動

不足をはじめとする身体教育やスポーツ科学に関連づけられる諸問題も拡大・深刻化し、その対策が求められています。この分野では、健康・体力、身体運動、スポーツ教育、スポーツマネジメントに関連する課題に直面している社会人を対象に専門教育を行い、課題解決にむけた高度な専門性を身につけた職業人の育成を目的としています。

(2) 心理開発研究コース

① 心理行動科学分野

心理学を、人間に起因する種々の問題を解決するためのツール・ボックスにとらえ、その知識・技術を習得した高度職業人を養成するためのコースです。入学者自身が、社会人としての体験を基礎に、自己の問題意識を十分に持っていることを前提としますので、講義主体のカリキュラムになりますが、少人数のディスカッションを中心としたセミナーの開講も予定されています。さらに、他分野の講義の受講を通じて、高度職業人としての新たな教養のあり方も模索していきます。

② スポーツ行動科学分野

スポーツや身体運動、あるいは体育などにおける心と身体の問題に対して、スポーツ心理学、体育心理学、運動学習科学などの知識や技術を習得し、実践で活用できるような高度職業人を養成するコースです。これまでのスポーツ経験や指導経験を基に、明確な問題意識を持っている社会人を対象として、高度な専門性と能力を持ったスポーツや体育指導者などを養成することを目的としています。

(3) 心理臨床研究コース

いじめ、不登校、自殺、家庭内での心理的問題等、「こころ」の問題に対応するための心理療法に関する高度な技術を有する専門職業人を養成するためのコースです。履修科目は、心理臨床基礎科目、演習・実習科目、修士論文指導の3領域からなり、心理臨床分野の総合的・全体的理解を図るものとなります。

履修に関しては、臨床トレーニング等の実習がかなりの部分を占めるため、昼間に十分な時間がとれることが前提になります。

研究分野一覧表

志望研究分野等一覧

生涯学習研究コース及び心理開発研究コースを受験する者は、どの分野を志望する予定であるかを下表のうちからひとつだけ選択し、様式1の志願票の志望研究分野欄に記入すること。

また、生涯学習研究コースの受験者のうち生涯スポーツ科学分野を志望する者以外は、志望研究分野の担当教員の中から希望する指導教員を2名まで選択して様式1の志願票に記入すること。

なお、各分野の担当教員の研究活動等については、教育発達科学研究科大学院紹介冊子または研究科のウェブサイト等を参照すること。

○生涯学習研究コース

研究分野	担当教員
生涯学習開発分野	吉川卓治 江頭智宏 中嶋哲彦 石井拓児 辻 浩 河野明日香 横山悦生
学校科学臨床分野	渡邊雅子 久野弘幸 柴田好章 坂本將暢 南部初世 Sarkar Arani Mohammad Reza
高等教育マネジメント分野	松下晴彦 生澤繁樹 服部美奈 伊藤彰浩 内田 良 阿曾沼明裕 松本麻人 夏目達也 中島英博
生涯スポーツ科学分野	志望担当教員を記入する必要はありません

○心理開発研究コース

研究分野
心理行動科学分野
スポーツ行動科学分野

大学院入学試験結果の開示について

大学院入学試験の結果を下記により受験生に開示します。

1. 開示の対象
大学院入学試験に不合格となった者
2. 開示の方法
試験の成績を各科目百分率で示す
3. 開示請求
下記の書類等を添えて、試験後の2週間～2ヶ月以内に請求してください
 - ・ 開示請求書（A4判，受験番号，氏名，志望専攻名，受験年月を明記）
 - ・ 受験票（原本に限る，コピーは不可）
 - ・ 返信用封筒（住所・氏名を明記し，82円分の切手を貼付したもの）

過去の入試問題の開示について

次の二方法により受験生に開示します。

1. 本研究科ウェブサイト上に掲載<<http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/index.html>>
既存の著作物の一部を問題に使用した部分は，ウェブサイト上での公開について著作権者の許諾を得ていないため非公開。出典文献名と使用箇所のみ公開。
2. 文系教務課本研究科窓口（名古屋大学東山キャンパス 文系総合館1階）にて閲覧
既存の著作物の一部を問題に使用した部分も閲覧可。持出・コピー・撮影等は著作権者の許諾を得ていないため厳禁。

2018（平成30）年度募集 志願者数・合格者数一覧

<博士前期課程>

		I期		II期	
		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
教育科学専攻		21	13	6	3
心理発達科学専攻	心理行動科学領域	11	3	7	3
	心理臨床科学領域	48	10	11	3
	スポーツ行動科学領域	1	1	0	0
高度専門職業人養成コース	生涯学習研究コース	6	5	3	1
	心理開発研究コース	1	0	0	0
	心理臨床研究コース	1	0	1	1

<博士後期課程>

			志願者数	合格者数
一般	教育科学専攻		10	5
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	4	2
		精神発達臨床科学講座	4	3
		スポーツ行動科学講座	2	2
社会人特別選抜	教育科学専攻		6	2
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	0	0
		精神発達臨床科学講座	3	2
		スポーツ行動科学講座	0	0
海外学位取得者特別選抜	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	1	1
		精神発達臨床科学講座	1	1
		スポーツ行動科学講座	0	0
教育マネジメントコース	生涯学習マネジメント		2	1
	学校教育マネジメント		0	0
	高等教育マネジメント		1	0
心理危機マネジメントコース	心理危機マネジメント		6	2

不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、以下のウェブサイト等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

○入試情報ウェブサイト（名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部）

URL <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

○連絡窓口

文系教務課 TEL 052-789-2606

熊本地震により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

熊本地震により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

名古屋大学では、2016年4月に発生した熊本地震による被害者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

2018年7月豪雨により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

2018年7月豪雨により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

名古屋大学では、2018年7月豪雨による被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試について、検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

北海道胆振東部地震により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

2018年9月に発生した北海道胆振東部地震により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

名古屋大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、2018年度に実施する学部又は大学院の入試について、検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

○本学ウェブサイト URL

<http://www.nagoya-u.ac.jp>

（大学からのお知らせ→受験生向け）